

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

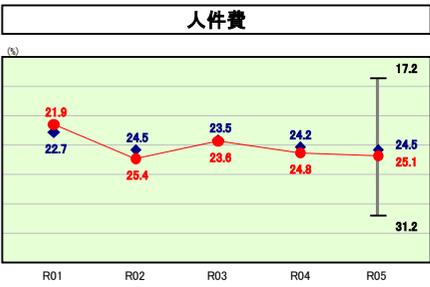
岡山県笠岡市

経常収支比率の分析

人口	44,773	人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	43,966	人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	136.07	km ²	実質公債費比率	7.8	%
歳入総額	26,698,472	千円	将来負担比率	48.2	%
歳出総額	26,287,188	千円	市町村類型	R01 II-2 R02 I-2 R03 I-2	
実質収支	336,901	千円	(年度毎)	R04 I-2 R05 I-2	
標準財政規模	13,548,567	千円			
地方債現在高	28,106,413	千円			

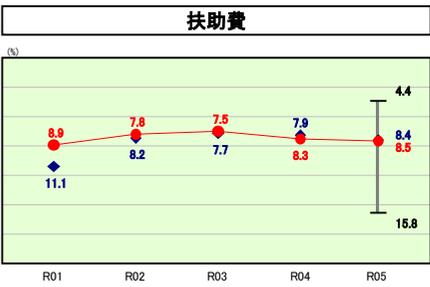


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 45/82 全国平均 25.5 岡山県平均 27.4

人件費の分析欄
 前年度からの増加幅は類似団体平均と同程度となっているが、比率は類似団体平均を上回っている。
 給料表の独自見直しを行うなど給与水準の適正化に努めており、今後も引き続き給料表の見直し等により、人件費や人件費に準ずる費用全体について抑制していく必要がある。



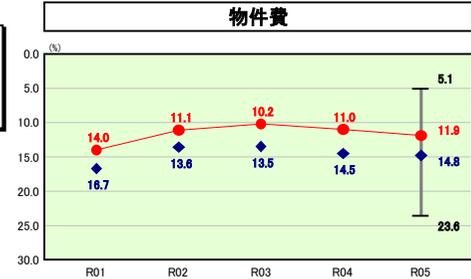
類似団体内順位 43/82 全国平均 13.2 岡山県平均 11.3

扶助費の分析欄
 障害福祉サービスや障害児通所給付等が高い水準で推移しており、比率は0.2ポイント増加した。
 類似団体と比較するとやや高い水準にあり、今後は福祉の低下を招かないようにしながら、生活保護等の資格審査を適切に実施するなど、適正な給付に努める。



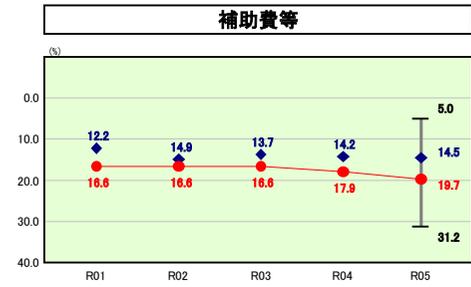
類似団体内順位 42/82 全国平均 15.9 岡山県平均 17.0

公債費の分析欄
 比率は類似団体平均を下回っているが、近年、防災・減災事業や自然災害防止事業、最終処分場建設事業等の大規模なハード事業が続いたことにより、今後の増加が見込まれている。
 今後も借入額の抑制など債務を増やさない取り組みを継続して実施する必要がある。



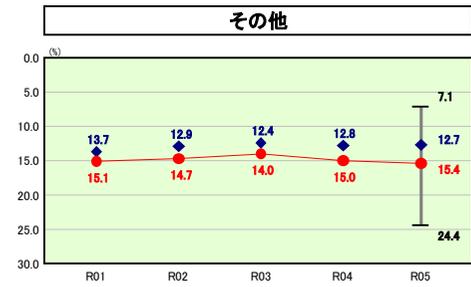
類似団体内順位 13/82 全国平均 15.2 岡山県平均 12.8

物件費の分析欄
 類似団体平均を下回っているが、物価高騰の影響もあり、経常的な物件費は増加傾向にある。
 今後も物価高騰の影響は続くものと思われるため、事業見直しや業務の効率化による歳出の削減に積極的に取り組む必要がある。



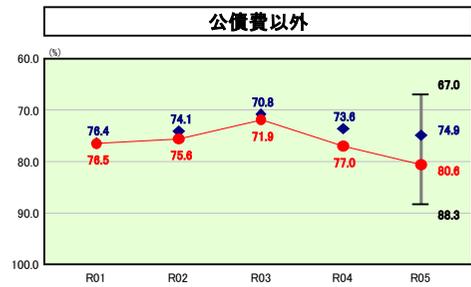
類似団体内順位 65/82 全国平均 10.7 岡山県平均 9.1

補助費等の分析欄
 物価高騰の影響で一部事務組合の負担金や公営企業への繰出金が増加傾向にあり、類似団体平均より高い比率となっている。
 今後も物価高騰の影響は続くものと思われるため、事業見直し等による歳出の削減に積極的に取り組む必要がある。



類似団体内順位 73/82 全国平均 12.6 岡山県平均 13.0

その他の分析欄
 物価高騰の影響等により、道路等の維持補修費が大幅に増加しており、類似団体平均よりも高い比率となっている。
 今後も物価高騰の影響は続くものと思われるため、公共施設やインフラ設備の修繕費用の抑制に積極的に取り組む必要がある。



類似団体内順位 73/82 全国平均 77.2 岡山県平均 73.6

公債費以外の分析欄
 物価高騰の影響による物件費の増や一部事務組合への負担金、公営企業への繰出金の増が大きく、類似団体平均よりかなり高い比率となっている。
 企業誘致等による固定資産税のさらなる増収に向けて取り組み、経常一般財源を確保する一方で、事業見直しや業務の効率化による歳出の削減にも積極的に取り組む必要がある。